

# リカレント教育課程 2020

## 第1回 ライフキャリアデザイン



# 自己紹介

## 1. 研究は . . .

- 専攻分野：地域社会学
- 最近の研究テーマ

地域政治への女性の参画

ツーリズムによる地域振興（ツーリズム先進地域のヨーロッパ、特にスコットランドとの比較の視点から）

## 2. 現代社会学部教授を退職後 . . .

### ①地域連携・産学官連携事業

- 女性地域リーダー養成プログラム
- リカレント教育課程（女性のための学び直し）
- 厚労省事業、文科省事業受託

### ■ ②国際化事業

- 留学生事業：日本語教育課程、サマープログラム
- 文化庁受託事業「日本語教育人材養成事業」

# 今日のテーマ： リカレント教育に取り組む「私の」動機

## 1. 社会的な観点から

- GGI 121位という現実～世界の動向と日本の現状の乖離～
- 日本社会の持続的展開に、女性のエンパワーメントは不可欠

## 2. 個人的な観点から

- 社会的活動への従事は、女性の幸福に資する

## 3. 理論的観点

- 平等論の立場
- 家父長制論の立場

# ところで 「ジェンダー」 とは？

- 性(Sex)：男女間の生物学的・解剖学的性差
- ジェンダー(Gender)：男女間の心理的、社会的、文化的性差
  - ・ 女性語・男性語
  - ・ 「女の子はやさしく・素直、男の子はたくましく・強く」
  - ・ 固定的役割分担（「男性は外で働き、女性は家庭で家事・育児・介護」）

# なぜジェンダー が問題か

- ジェンダーに基づく社会的差異の存在  
⇒女性が置かれている

## 不公平・不平等な社会的立場

- 女性生計維持者の世帯の所得<男性生計維持者  
(事例1) 世帯所得の比較  
全世帯平均と母子世帯・父子世帯の平均所得  
⇒ 離婚後の子供の養育費負担は誰？  
(事例2) 高齢者世帯の所得の比較  
⇒ なぜ高齢女性の所得が低いのか？

- ⇒②社会発展の阻害要因

SDGs17



## 世帯構成別平均世帯所得（万円）

資料：2017年生活基礎調査）

単身世帯

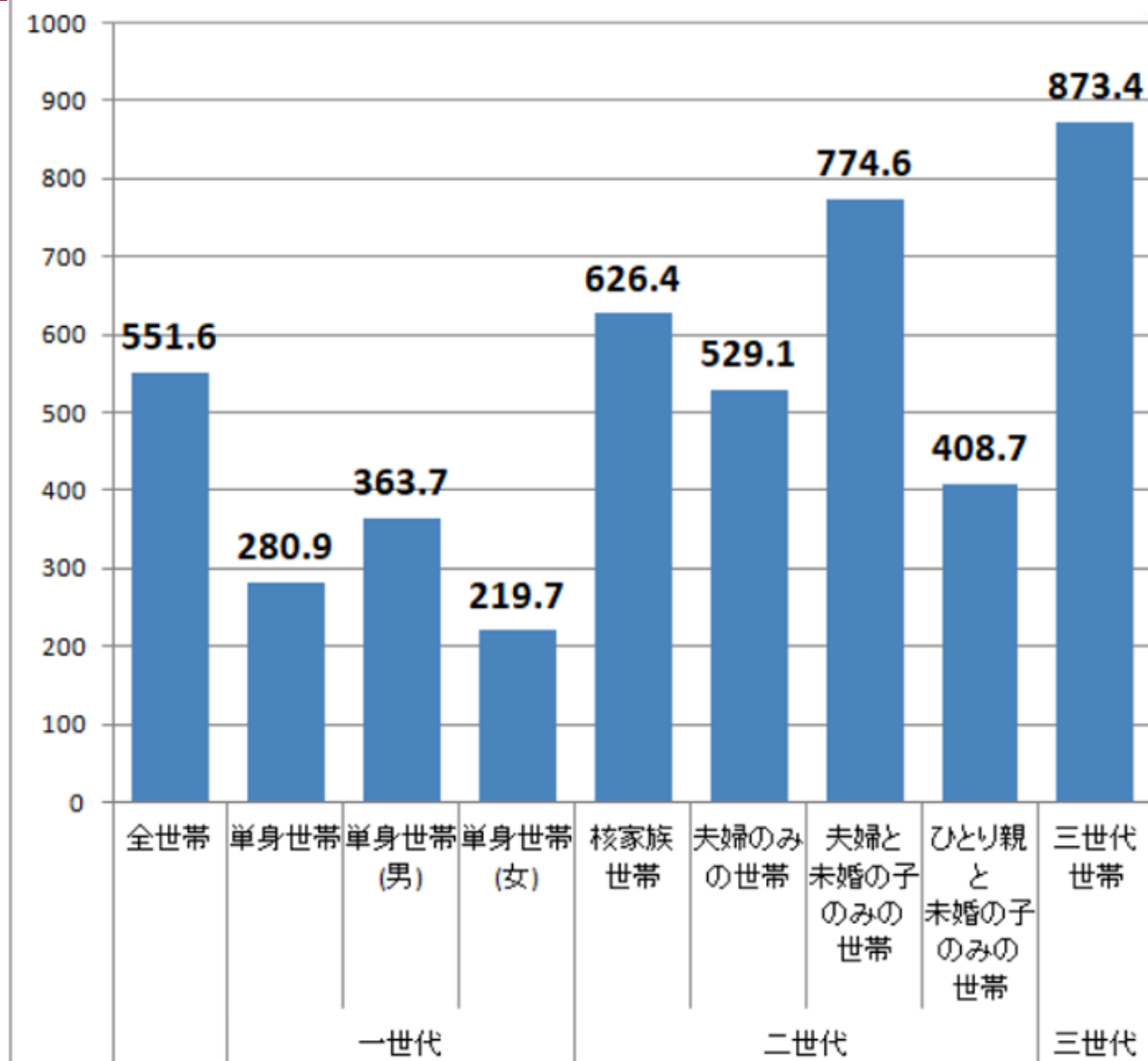
280.9万円

単身男世帯

363.7万円

単身女世帯

219.7万円



# 男女の所得格差

標準4人世帯

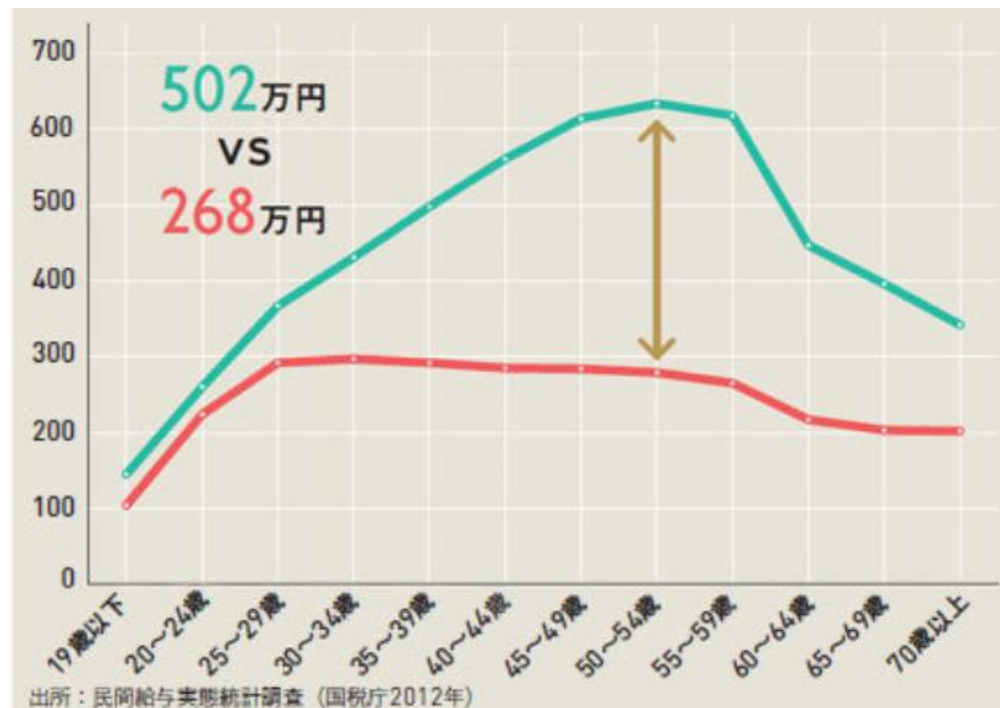
707万円

父子世帯

455万円

母子世帯

291万円



	100万円 未満	100-200万円 未満	200-300万円 未満	300-400万円 未満	400万円 以上	平均世帯収入
母子世帯	10.8%	26.4%	26.9%	15.4%	20.5%	291万円
父子世帯	3.1%	8.9%	19.0%	19.3%	49.7%	455万円
標準4人世帯	1.3%	1.8%	2.9%	10.1%	83.9%	707万円

# なぜ、母子家庭は 所得が低いのか

厚労省H18『全国母子世帯等  
調査結果報告書』

①養育費受給なし  
59.1%

総 数	現在も養育費を受け ている	養育費を受けたこと がある	養育費を受けたこと がない	不 詳
平成15年				
(100.0)	(17.7)	(15.4)	(66.8)	( - )
平成18年				
1,209 (100.0)	230 (19.0)	194 (16.0)	714 (59.1)	71 (5.9)



# 母子・父子世帯になる前の父母の就業状態

厚労省H18『全国母子世帯等調査結果報告書』

不就業

母 29.4%

父 0.5%

## ■ 母子世帯になる前の母の就業状態

	総 数	就業していた	従 業 上 の 地 位						不就業	不 詳
			事業主	常 用 雇用者	臨時・ パート	派遣 社員	家 族 従業者	その他		
総 数	1,517 (100.0)	1,052 (69.3) (100.0)	62 (5.9)	302 (28.7)	514 (48.9)	31 (2.9)	72 (6.8)	71 (6.7)	446 (29.4)	19 (1.3)

## ■ 父子世帯になる前の父の就業状態

	総 数	就業していた	従 業 上 の 地 位						不就業	不 詳
			事業主	常 用 雇用者	臨時・ パート	派遣 社員	家 族 従業者	その他		
総 数	199 (100.0)	195 (98.0) (100.0)	32 (16.4)	147 (75.4)	5 (2.6)	4 (2.1)	5 (2.6)	2 (1.0)	1 (0.5)	3 (1.5)

## II. ジェンダー ギャップ指数 (GGI) 121位と いう現実

### ■ 人間開発指数Human Development Index (HDI)

平均寿命、教育水準〔就学率〕、国民所得  
実施：国連

2016年 第17位 (188ヶ国中)

2019年 **第19位** (189ヶ国中)

### ■ ジェンダーギャップ指数Gender Gap Index (GGI)

経済分野、教育分野、政治分野、保健  
分野における男女格差

**実施：世界経済フォーラム**

2015年 第106位 (145ヶ国中)

2018年 第110位 (144ヶ国中)

**2019年 第121位 (153か国中)**

## 121位とは、どの ような国か

ネパール	101位
韓国	108位
インド	112位
ミャンマー	114位
日本	121位

120	United Arab Emirates	0.655
121	Japan	0.652
122	Kuwait	0.650
123	Maldives	0.646
124	Tunisia	0.644
125	Guinea	0.642
126	Vanuatu*	0.638
127	Papua New Guinea*	0.635
128	Nigeria	0.635
129	Burkina Faso	0.635
130	Turkey	0.635
131	Bhutan	0.635
132	Algeria	0.634
133	Bahrain	0.629
134	Egypt	0.629
135	Qatar	0.629

## 男女間の格差、 世界121位???

■1位：読み書き能力、初等・中等教育、平均余命

■100位以下

労働賃金、経営管理職、政治家、教授・専門職、  
高等教育（大学進学率・学部格差・

大学院進学率・博士号取得者の男女格差）

◆「日本は男女格差の解消に失敗している。教育や健康分野の進展にも関わらず、さらに順位を下げている。」  
（世界経済フォーラム）

◆「格差の解消」と「ダイバーシティ」が**経済の発展に資する**、

ということが世界の共通認識

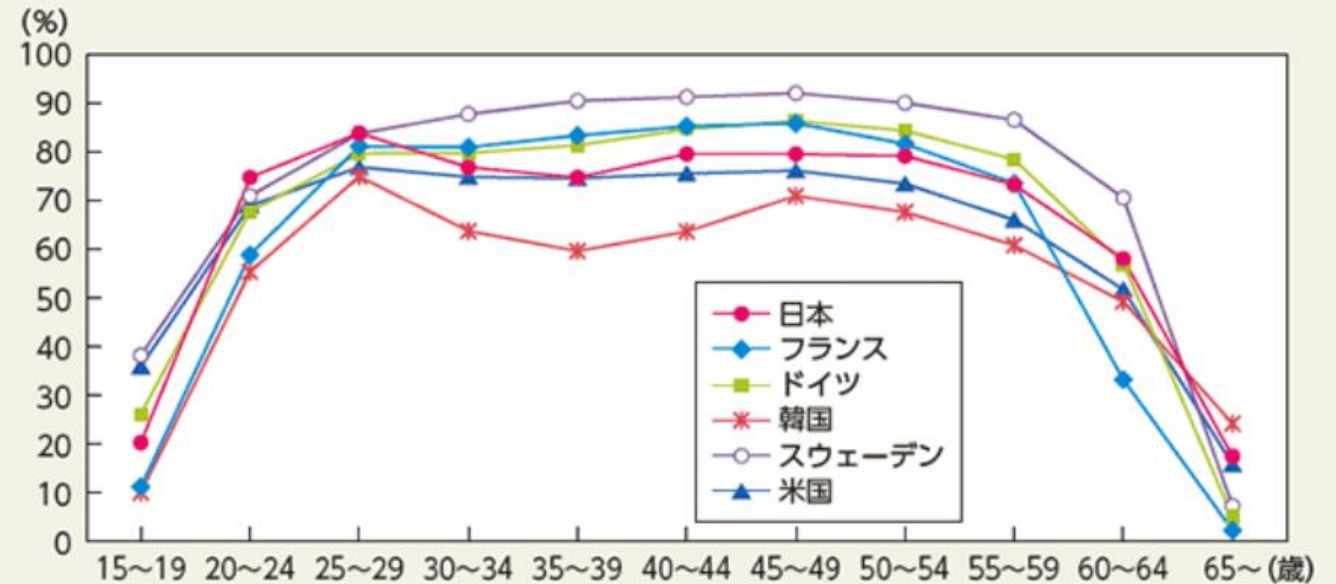
## 経済領域での 121位の現実

先進諸国の中で  
唯一、M字カーブが残  
る国

⇒女性のキャリア中断

## 主要国における女性の年齢階級別労働力率

『令和元年度 男女共同参画白書』



- (備考) 1. 日本は総務省「労働力調査 (基本集計)」(平成30年), その他の国はILO "ILOSTAT"より作成。フランス, ドイツ, スウェーデン及び米国は平成30 (2018) 年, 韓国は平成29 (2017) 年の値。  
2. 労働力率は, 「労働力人口 (就業者+完全失業者)」 / 「15歳以上人口」 × 100。  
3. 米国の15~19歳の値は, 16~19歳の値。

# ①管理職比率の 男女格差

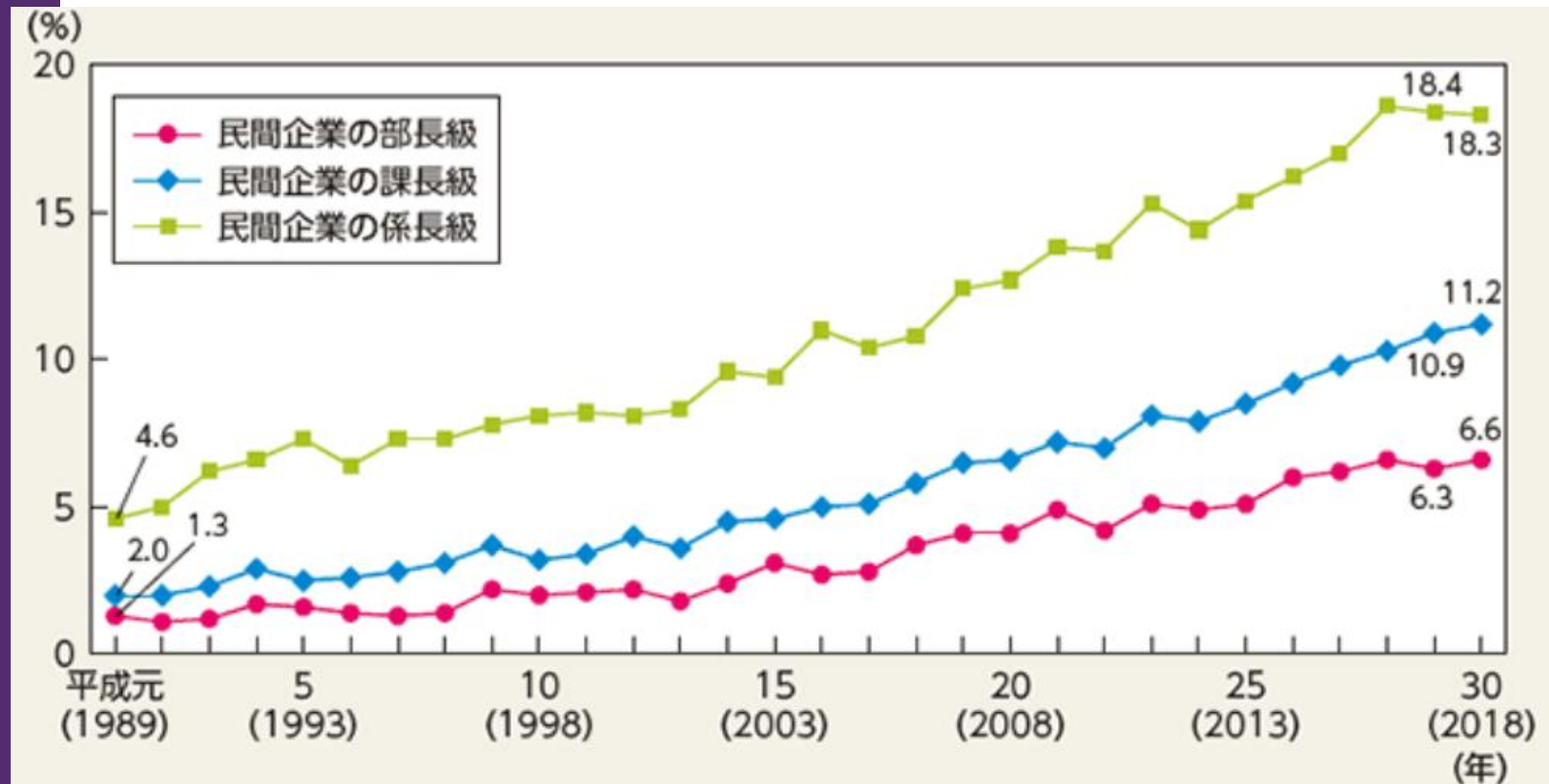
『令和元年度 男女共同参  
画白書』

係長	18.3%
課長	11.2%
部長	6.6%
上場企業役員	4.1%

■ 出産・育児でキャリアを中断

⇒ 年功序列型雇用形態

■ 女性管理職比率の低さ ⇒ 報酬の低さ



## ①管理職比率の男女格差 国際比較

『令和元年度 男女共同参画白書』

- ・就業者比率は世界と同等

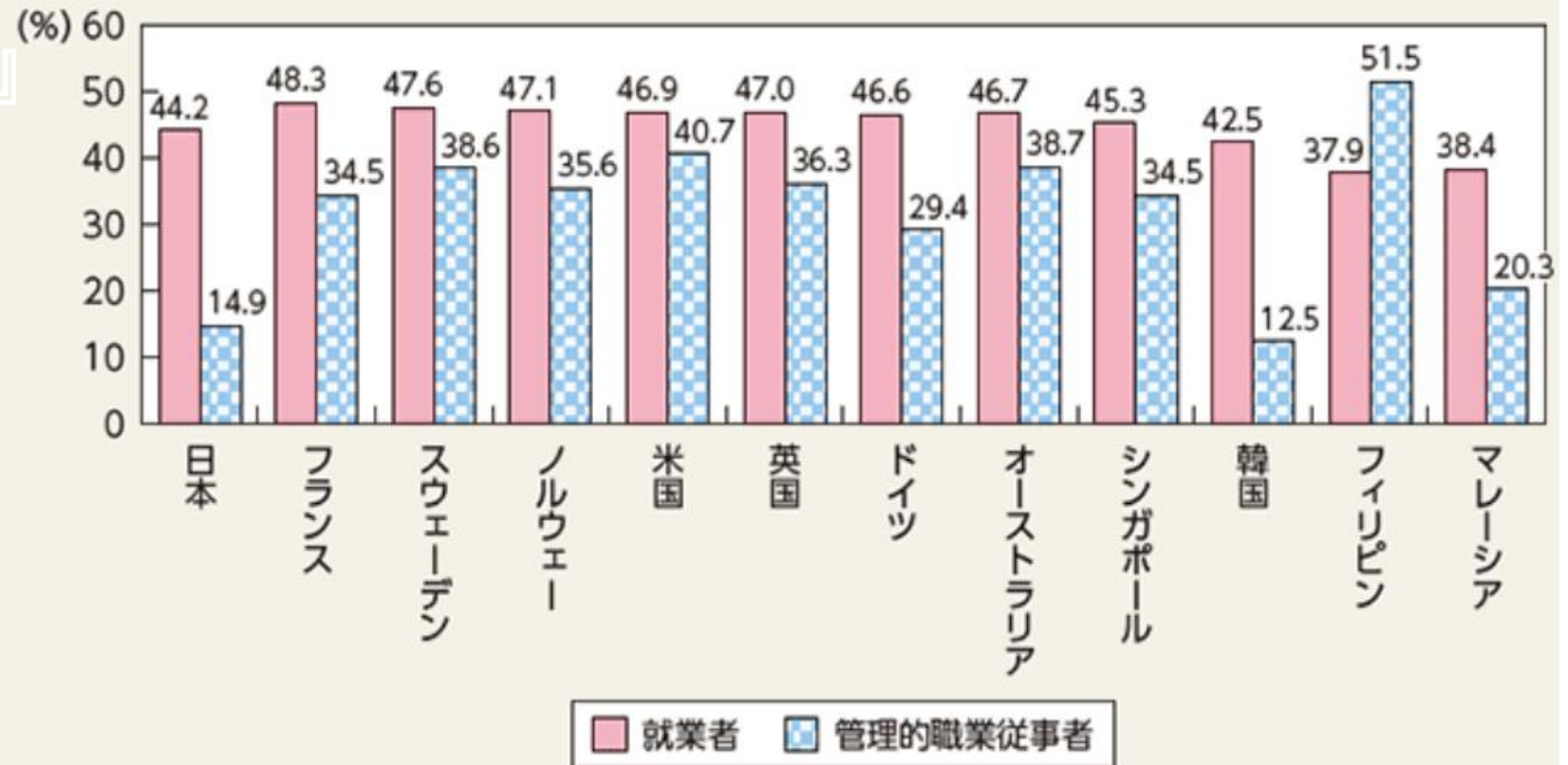
- ・管理的職業は世界に比して格段と低い

日本 14.9%

仏国 34.5%

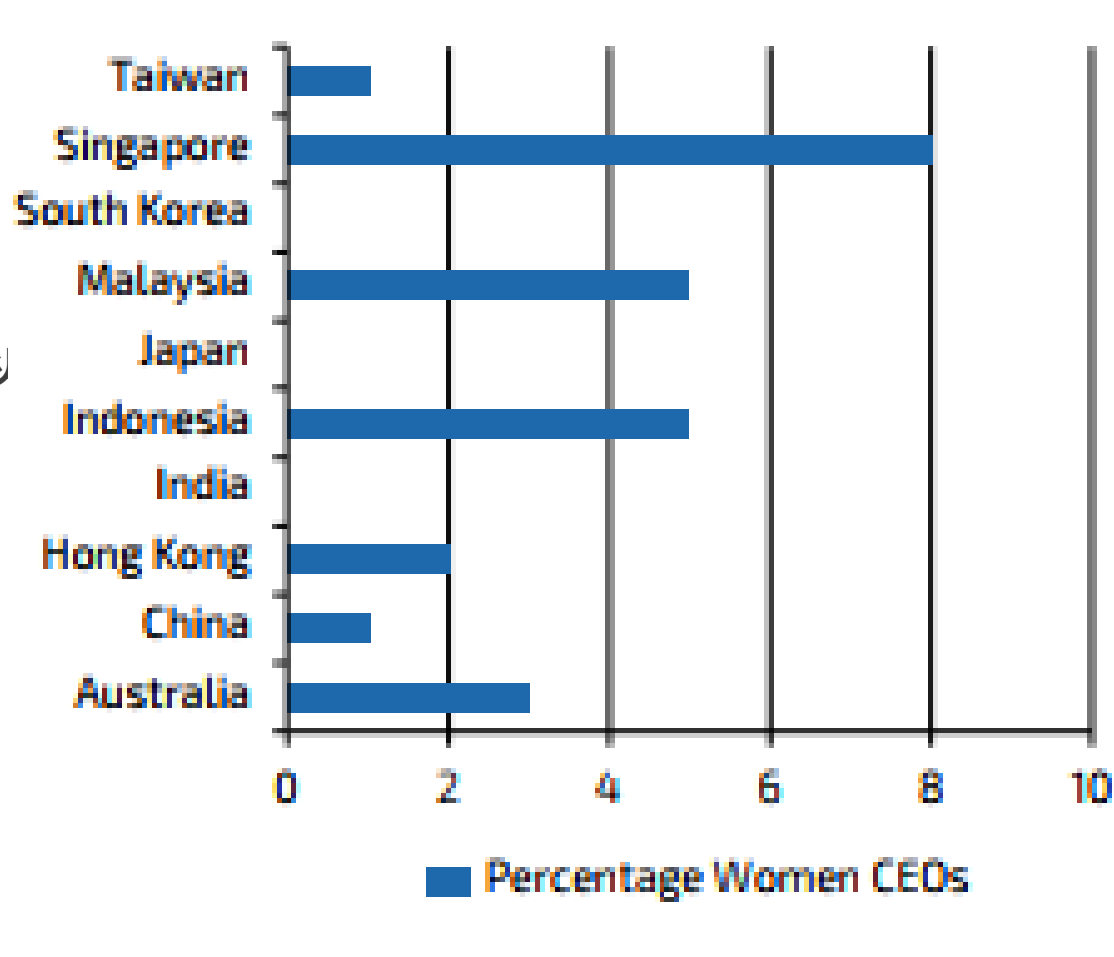
米国 40.7%

英国 36.3%



# 世界の女性：少ない企業のトップ

- しかし日本は・・・1%以

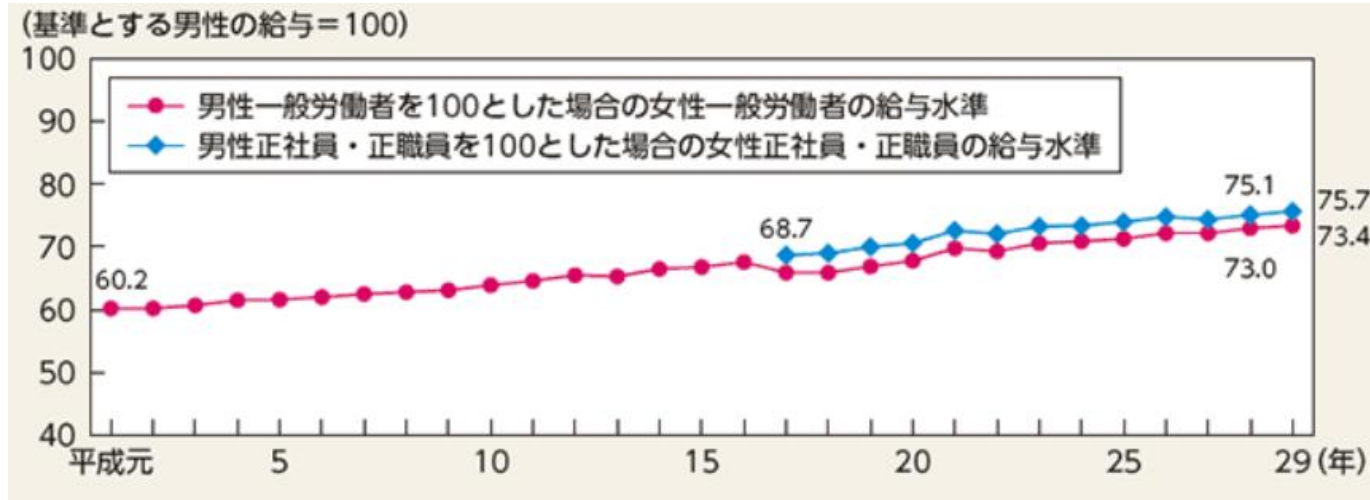




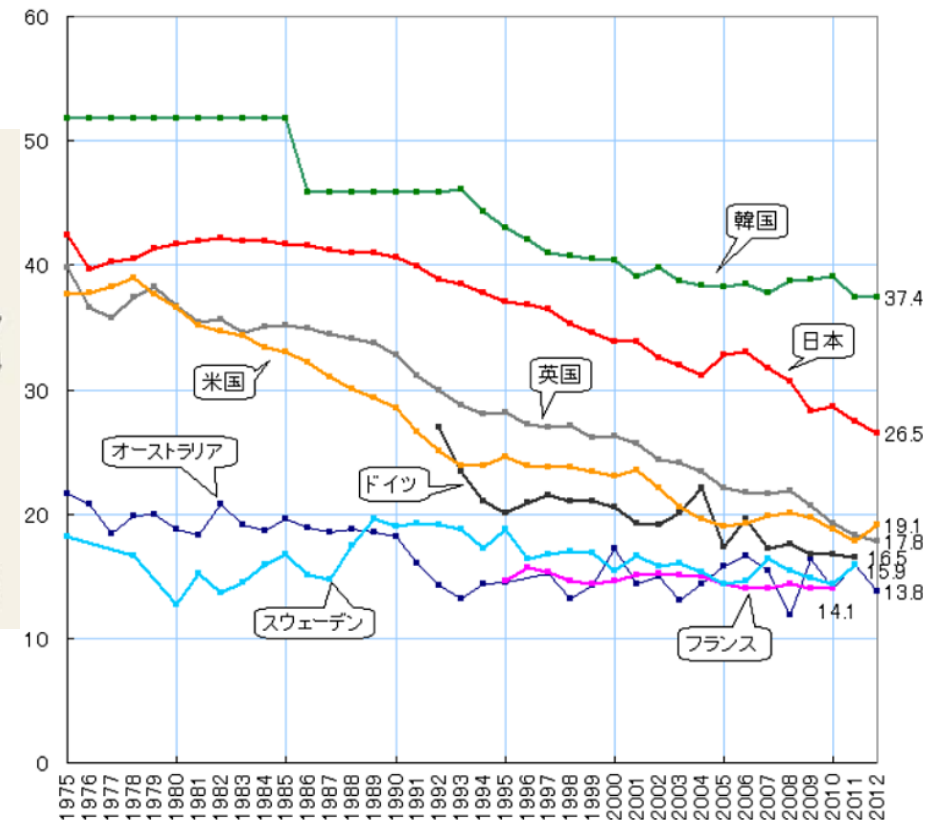
### ③男女賃金格差の推移・国際比較

H30『男女共同参画白書』

正社員  
男性100  
女性75.7



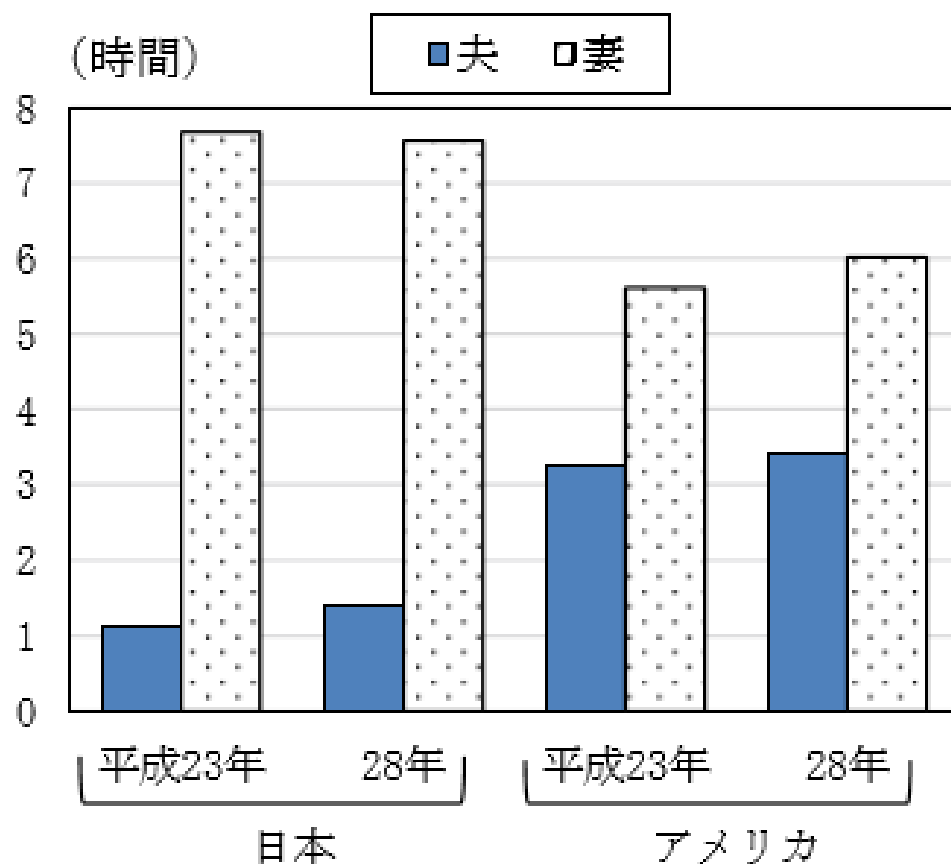
「賃金＝能力の評価」とするなら  
女性の能力は75%しか活用されていない



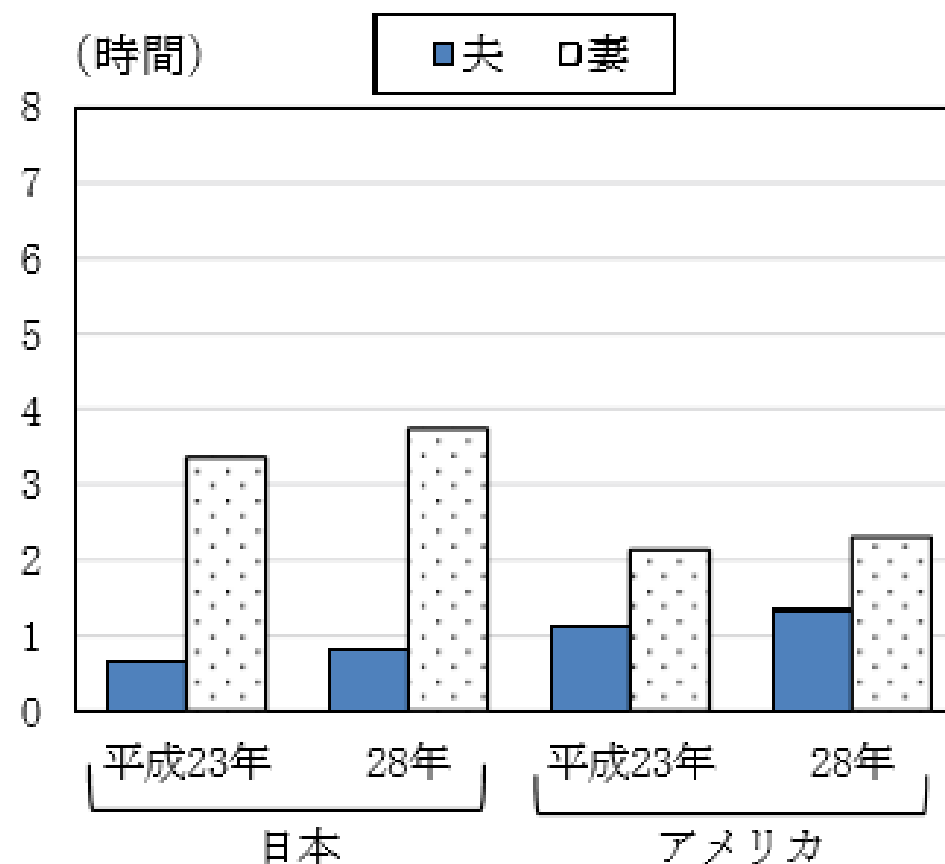
# 6歳未満の子供のいる夫・妻の家事関連時間（日本・米国）

「H28年社会生活基本調査」

## 家事関連時間



## 育児時間



## 女性の就労と 合計特殊出生率

- 女性の就労は出生率低下の原因ではない。
- 事実はその逆

イギリス 1.79

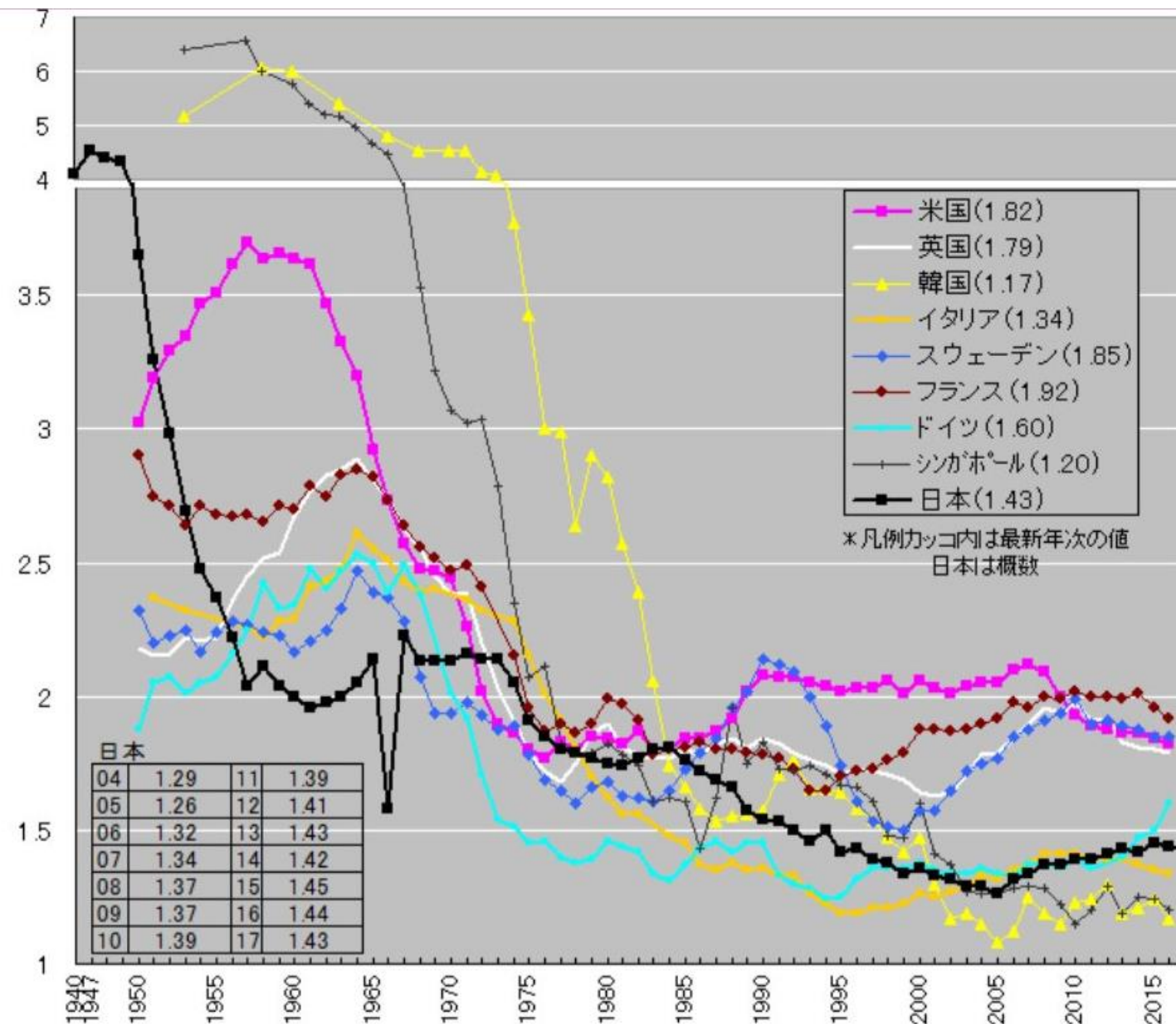
ドイツ 1.60

フランス 1.92

スウェーデン

1.85

日本 1.43



## 小括：人口構造の変動と女性の参画

### ◆出生率と女性の参画の関係就労率の高い国

- 女性の平均賃金の高い国
- 女性管理職率の高い国

⇒合計特殊出生率の回復を実現

### ◆背景に

ワークライフバランスの実現

企業の変化

⇒生産効率の向上